



赤外線マイクロフォンレシーバー

KWR-200A KWR-200B

取扱説明書

ご使用前にかならずお読みください

このたびは赤外線マイクロフォンレシーバー KWR-200 をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本機の機能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくためにご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は保証書と一緒に、いつでも取り出せる場所に保管してください。

55AA851112

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しくお使いください。

■ 絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 絵表示の例



感電注意

△記号は注意(危険・警告)を促す内容を告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は、感電注意)が描かれています。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は、分解禁止)が描かれています。



電源プラグをコンセントから抜く

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

設置されるとき



警告

- 本機に表示された電源電圧(交流 100 ボルト)以外の電圧で使用しない
火災・感電の原因となります。
- 本機を設置する場合は壁から 10cm 以上の間隔をとる
放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置いてください。
- ラックなどに入れるときは、機器の天面から 2cm 以上、背面から 5cm 以上のすきまをあける
内部に熱がこもり火災の原因となります。



危険

- 船舶などの直流(DC)電源には接続しない
本機を使用できるのは日本国内のみです。
火災の原因となります。
- AC アダプターの電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにする
AC アダプターの電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。電源コードを敷物などでおおうことにより、それに気付かず重いものをのせてしまうことがあります。
- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない
火災・感電の原因となります。特にお子さまのいるご家庭ではご注意ください。
- AC アダプターの電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
AC アダプターの電源コードが破損して、火災・感電の原因となります。



禁止



注意

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かない
火災・感電の原因となります。
- AC アダプターの電源コードを熱器具に近づけない
AC アダプターの電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 他の機器などを接続する場合は各機器の取扱説明書をよく読み、説明にしたがって接続する
接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 本機をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 本機を湿気やほこりの多い場所に置かない
火災・感電の原因となることがあります。
- 本機の上にものを置かない
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



禁止



危険



禁止

ご使用になるとき



警告

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常がある場合は使用しない
火災・感電の原因となります。
すぐに AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して取扱店に修理をご依頼ください。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて取扱店に連絡する
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く



警告

- 万一、本機の内部に水などが入った場合は、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて取扱店に連絡する
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、本機を落したり、ケースなどを破損した場合は、AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜いて取扱店に連絡する
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグをコンセントから抜く

- AC アダプターの電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)取扱店に交換を依頼する
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



危険

- 風呂、シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

- 雷が鳴りだしたら AC アダプターの電源プラグには触れない
感電の原因となります。



接触禁止

- 本機に水が入ったり、ぬらさないように注意する
火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止

- 本機の裏ぶた、カバーなどは絶対はずさない
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は取扱店にご依頼ください。



分解禁止

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- 本機の上にものを置かない
火災の原因となります。



禁止

- 本機を分解改造しない
火災・感電の原因となります。



分解禁止



注意

- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しない
ケースや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 本機の上に乗らない
特にお子さまにはご注意ください。
けがの原因となることがあります。



禁止



注意

- ぬれた手で AC アダプターの電源プラグを抜き差ししない
感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

- 本機の電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にする
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 万一の事故防止のため、AC アダプターをコンセントの近くに置き、すぐにコンセントからプラグを抜けるようにする



危険

- 旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のためかならず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く
火災の原因となることがあります。
- 本機を移動させる場合は、かならず AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずす
AC アダプターの電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

お手入れについて



注意

- AC アダプターの電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない
AC アダプターの電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。かならず電源プラグを持って抜いてください。



禁止

- お手入れの際は安全のため AC アダプターの電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を取扱店に相談する
機器の内部にほこりがたまっただまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については取扱店にご相談ください。



注意

CSR カスタマーサポート

TEL : 042-711-6001

e-mail : support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間

9:00 ~ 17:00

(土日祝日を除く)

特長

- ◆ 赤外線ワイヤレスマイクロフォンが同時に2本使用可能です。
- ◆ 音声の帯域圧縮と帯域伸張技術の採用により、より広いダイナミックレンジの確保が可能です。
- ◆ マイクが本機から離れ過ぎて、発生するノイズ(バリバリ音)をノイズミュート回路の採用により、極力おさえることができます。
- ◆ マイクからの赤外線の強さに応じて、受信感度を本機底面のミュート切換スイッチで行えます。
- ◆ 受光ユニットを4個まで取り付けことができ、受信範囲を広くすることができます。
- ◆ 小型軽量なので設置が容易です。

梱包内容

この梱包箱の中には次の物品が入っています。確認をしながら開梱をしてください。

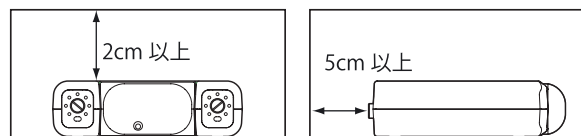
1. 赤外線マイクロフォン レシーバー (KWR-200) (受光ユニット KIR-200 付き)	4. KIR-200 取付ネジ (2個)
2. AC アダプター	5. 取扱説明書 (本書)
3. アンプ用接続ケーブル 1.5m (1本) RCA ピン - 6.5φ プラグ	6. 保証書

ご使用上の注意

次のような場所に設置しないでください。

- ◆ 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体が近い場所
- ◆ 風通しが悪く、熱がこもったり、湿度やホコリの多い場所
- ◆ 振動や傾斜のある不安定な場所
- ◆ 窓ぎわで、雨などがかかるおそれのある場所
- ◆ 調理台のそばなど、油煙、蒸気、熱が当たる場所

設置の際は本機と壁もしくはラックとのスペースは下図以上に離してください。



高電圧送電線の真下でのご使用は誤動作やノイズなどが発生する原因になりますのでご注意ください。

お手入れ

本機が汚れたときは、やわらかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5～6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れを拭きとったあと、乾いた布でから拭きしてください。

アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると印刷などがはげたり、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。

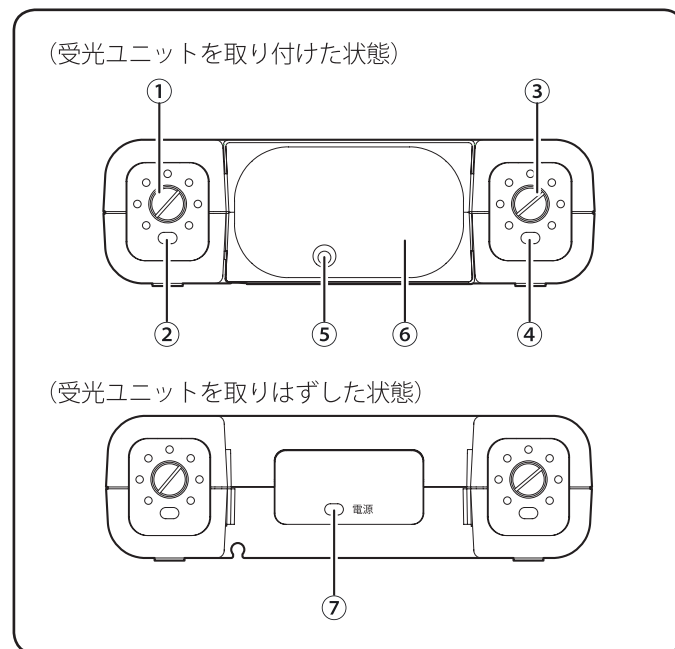
また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと本機表面が変質したり、印刷などがはげたりすることがありますのでご注意ください。

接続上の注意

- ◆ 本機と各機器を接続する際は、本機から AC アダプターの電源コードを抜き各機器の電源を切った状態で行ってください。
- ◆ 接続コードのプラグは、しっかり差し込んでください。接続が不完全ですと音が出なかったり、ノイズが発生する原因になります。
- ◆ AC アダプターの電源コードをコンセントから抜くときは、かならず AC アダプターの電源プラグ部分を持って抜いてください。

各部の名称とはたらき

前面



① マイク音量調整ツマミ (MIC 1 側)

マイクから入力された音声をアンプなどに出力する際の音量を調整します。右に回すと音量は大きくなります。左に回すと音量は小さくなります。マイクを2本使ったときに音量の差が生じる場合は、このツマミを回して調整してください。

② 受信インジケータ (MIC 1 側)

受信すると緑色に点灯します。

③ マイク音量調整ツマミ (MIC 2 側)

マイクから入力された音声をアンプなどに出力する際の音量を調整します。右に回すと音量は大きくなります。左に回すと音量は小さくなります。マイクを2本使ったときに、音量の差が生じる場合は、このツマミを回して調整してください。

④ 受信インジケータ (MIC 2 側)

受信すると緑色に点灯します。

⑤ 電源インジケータ (受光ユニット部)

電源が入ると以下のように点灯します。
KWR-200A：赤色、KWR-200B：緑色

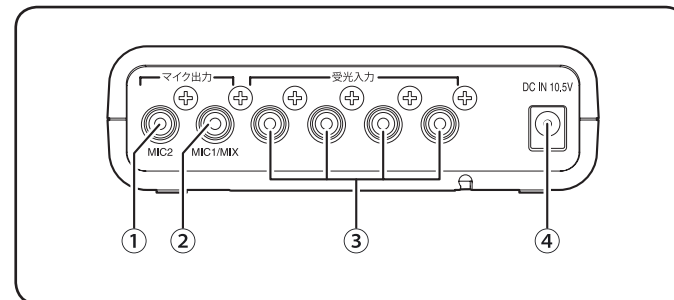
⑥ 受光ユニット (KIR-200)

この受光ユニットでマイクからの赤外線を受信します。この受光ユニットは本体から取りはずして使うこともできます。

⑦ 電源インジケータ (本体部)

電源が入ると以下のように点灯します。
KWR-200A：赤色、KWR-200B：緑色

後面



① マイク出力端子 (MIC 2 / MIX)

MIC 2 の音声を RCA ピンケーブルで出力します。出力モードスイッチを MIX 側にすると、MIX 出力となり、MIC 1、MIC 2 の音声をミックスして出力します。

② マイク出力端子 (MIC 1 / MIX)

MIC 1 の音声を RCA ピンケーブルで出力します。また、出力モードスイッチを MIX 側にすると MIX 出力となり、MIC 1、MIC 2 の音声をミックスして出力します。

③ 受光入力

受光ユニットのプラグを差し込みます。受光ユニットは4台まで接続できます。

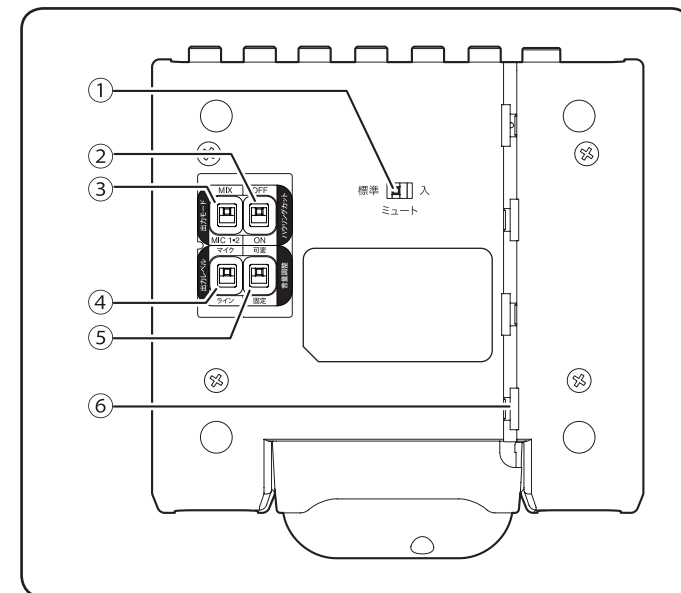
④ 外部電源入力端子 (DC IN 10.5V)

付属 AC アダプターの DC プラグを差し込みます。

警告

- 他の AC アダプターを使用すると、本機の故障、火災・感電の原因になります。AC アダプターはかならず付属のものをご使用ください。
- 受光入力端子にアンプやコマンダーからの接続ケーブルは絶対に接続しないでください。接続されたコマンダー、アンプ、スピーカーの故障の原因になることがあります。

底面



① ミュート切換スイッチ

このスイッチで受信感度を切り換えます。「入」に設定すると、小規模な場所でのご使用に適した感度になります。通常は「標準」の設定でご利用ください。

② ハウリングカットスイッチ

このスイッチを ON にするとハウリングが低減されます。通常は OFF で使用してください。

③ 出力モードスイッチ

このスイッチでマイク出力の方法を切り換えます。「MIC1 MIC2」に設定すると、マイク出力端子の MIC1/MIX と MIC2/MIX から音声がそれぞれ出力されます。「MIX」に設定すると、マイク出力端子の MIC1/MIX と MIC 2/MIX から MIC 1 と MIC 2 の音声がミックスされて出力されます。

④ 出力レベルスイッチ

このスイッチでマイク出力のレベルを切り換えます。マイクなどの入力端子と接続する際は「マイク」に設定してください。AUX などの入力端子に接続する際には「ライン」に設定してください。

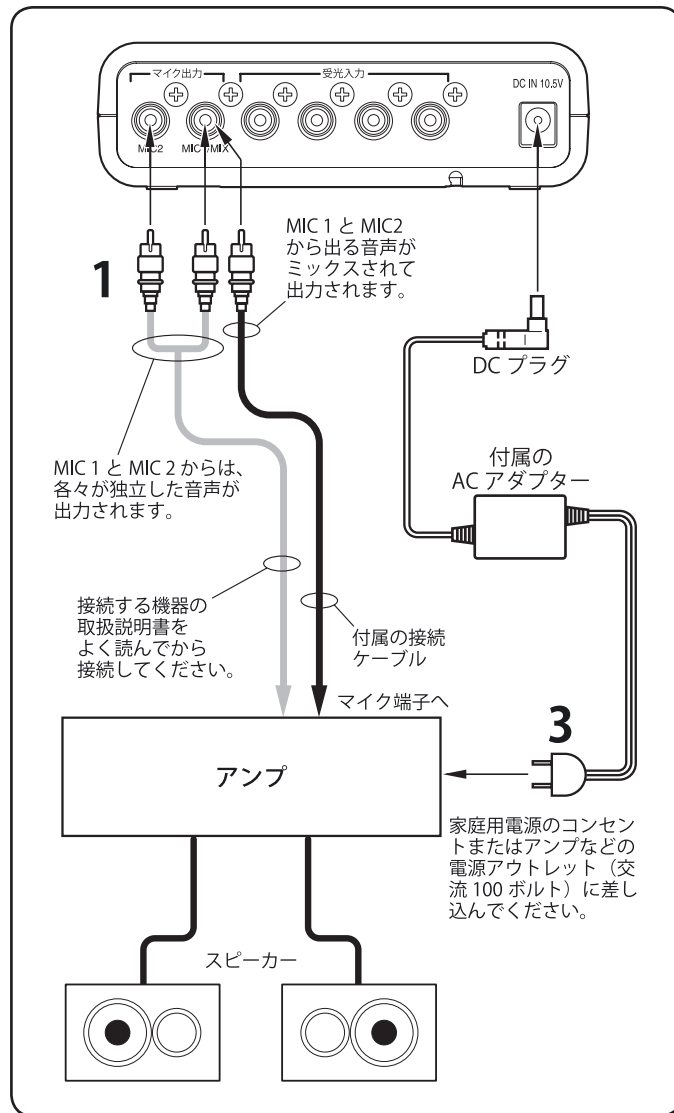
⑤ 音量調整スイッチ

このスイッチを固定にすると、音量調整つまみの位置に関わらず音量を固定できます。通常は可変にしてご利用ください。

⑥ 受光ユニットケーブルガイド

受光ユニットを前面に取り付けてご使用の際には、このガイドに受光ユニットのケーブルをはさむようにして、後面側にケーブルを出してください。

準備と接続



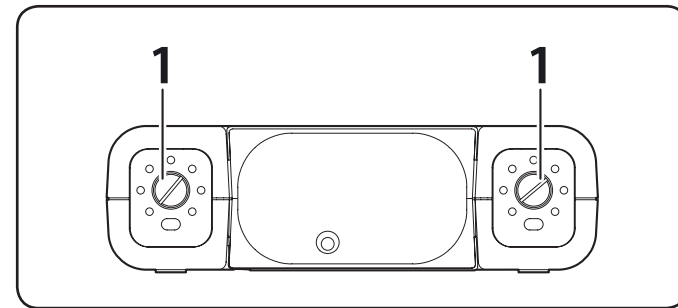
1. 本機とアンプまたはカラオケコマンダーなどと接続します。接続する前には、接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
2. 本機に接続する機器に合わせて本機底面の出力切換スイッチを「マイク」側、または「ライン」側に切り換えてください。マイクなどの入力端子に接続した場合は、「マイク」側に切り換えてください。AUX などの入力端子に接続した場合は、「ライン」側に切り換えてください。出力レベルと入力側の端子があっていないと、音声が出なかったり、音声の歪みやノイズが発生することがあります。
3. AC アダプターの電源プラグを家庭用電源（交流 100 ボルト）の電源コンセントまたはアンプなど本機と接続されている機器のアウトレット（交流 100 ボルト）に差し込んでください。アンプなどの電源アウトレットに接続する場合は、かならず AC アダプターの消費電力以上が供給できる電源アウトレットに接続してください。

注意 本機をアンプまたはカラオケコマンダーと接続する場合は、必ずアンプまたはカラオケコマンダーの電源を切った状態で行ってください。また、アンプまたはカラオケコマンダーと接続するケーブルを受光入力端子に接続しないでください。アンプやカラオケコマンダーやスピーカーを破損する原因になる場合があります。

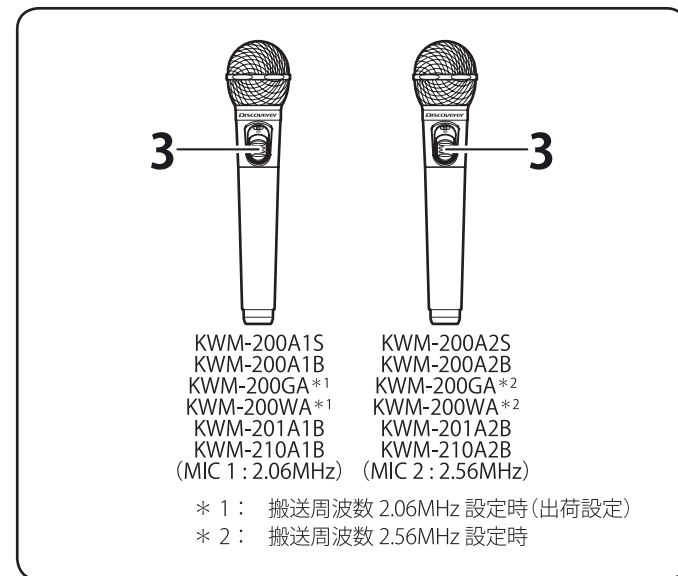
操作方法

基本の操作

操作の前に本機と各機器が正しく接続されていること、またマイクの電池残量が十分にあることを確かめてください。



1. それぞれのマイク音量調整つまみを左方向に回しきります。
2. 本機に AC アダプターを接続し、本機に接続されている機器の電源を入れます。電源が入ると、電源インジケータが点灯します。
3. マイクのスイッチを ON にします。本機がマイクからの赤外線を受信すると、MIC 1 側または MIC 2 側の受信インジケータが点灯します。マイクを 2 本ご使用の際に、MIC 1 側、MIC 2 側の受信インジケータが点灯しない、またはどちらかしか点灯しない場合は、本機とマイクの組み合わせが合っていない可能性があります。マイクのモデル名とレーザーのモデル名の組み合わせを確認してください。次項の「赤外線ワイヤレスマイクロフォンシステム互換表」を参照してください。



4. マイクに声を入れて音量を調整します。マイク音量調整つまみを右に回すと音量は大きくなります。マイク音量調整つまみを左に回すと音量は小さくなります。

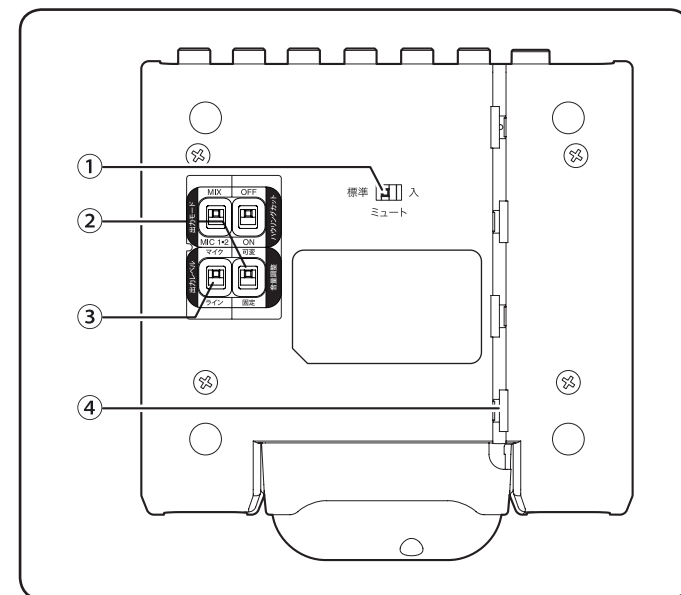
赤外線ワイヤレスマイクロフォンシステム互換表

本システムは下表を参考にマイク、レーザーを組み合わせてご使用ください。

搬送周波数	赤外線ワイヤレスマイクロフォン名*1	モデル識別カラー*2	赤外線レーザー名
2.06MHz	KWM-200A1S KWM-200A1B KWM-200GA KWM-200WA KWM-201A1B KWM-210A1B	赤	KWR-200A
2.56MHz	KWM-200A2S KWM-200A2B KWM-200GA*3 KWM-200WA*3 KWM-201A2B KWM-210A2B	緑	KWR-200A
3.20MHz*4	KWM-200A1S KWM-200A1B KWM-200GA KWM-200WA	赤	KWR-200B
3.70MHz*5	KWM-200A2S KWM-200A2B KWM-200GA KWM-200WA	緑	KWR-200B

- * 1: 一部のマイクは、ケース下を外した電池収納部の反対側に貼ってあるラベルにてマイク名をご確認いただけます。
- * 2: モデル識別カラーは、受光ユニットの電源インジケータまたは本体の電源インジケータの点灯によりご確認いただけます。
- * 3: KWM-200GA/KWM-200WA は、搬送周波数を 2.56MHz に設定した場合です。
- * 4: 搬送周波数を 3.20MHz に設定した場合です。
- * 5: 搬送周波数を 3.70MHz に設定した場合です。

底面のスイッチ設定

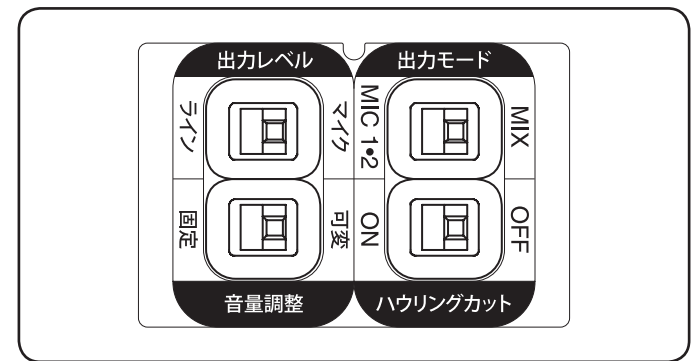


受信感度の変更方法

本機を使用する部屋の大きさに合わせて、底面のミュート切換スイッチを使って受信感度(ミュート)を切り換えることができます。

- 入: カラオケボックスなどの小規模でのご使用時。
目安として、10 畳以下の大きさ。
- 標準: ホールや大規模なお店でのご使用時。
目安として、10 畳以上の大きさ。

注意 感度の切り換えは実際にご使用になって、その場所にあった設定にしてください。



ハウリングの低減方法

ハウリング(キーン、ボーというノイズ)が発生しやすい場所でご使用になる場合に、ハウリングカットスイッチを ON にすることでハウリングを低減できる場合があります。(音質を重視される場合は OFF で使用してください。)

マイク出力の変更方法

接続されるアンプなどの入力系統数に合わせて、底面の出力モードスイッチを使ってマイク出力端子の出力方法を切り換えます。

MIC1 MIC2: マイク出力端子の MIC1/MIX と MIC2/MIX から音声それぞれ出力されます。接続するアンプなどの機器に 2 系統以上の入力端子がある場合にお使いください。

MIX: マイク出力端子の MIC1/MIX から MIC1 と MIC2 の音声が入力端子に接続された場合、各々が独立した音声が入力されます。接続するアンプなどの機器の入力端子が 1 系統の場合にお使いください。

出力レベルの変更方法

接続されるアンプなどの入力端子の種類に合わせて、底面の出力切換スイッチを使って本機からの出力レベルの方法を切り換えます。

マイク: マイクなどの入力端子に接続する場合
ライン: AUX などの入力端子に接続する場合

音量調整を固定する方法

音量調整つまみを無効にして、音量を固定するためには、音量調整スイッチを固定にしてください。いたずらが防止できると同時に、クリアな音質が得られます。(固定にすると音量調整つまみセンターと同じ音量になります。)

注意 各スイッチ設定は、必ず DC プラグが AC アダプターのコンセントを抜いてから行ってください。

受光ユニット(KIR-200)

⚠️ 取り付け前の注意

- 受光ユニットを取り付けずに、レシーバーだけでは赤外線を受信することができません。かならず受光ユニットを取り付けてください。見通しの良い場所にレシーバーを設置できる場合には、受光ユニットは前面に取り付けたままで使用できます。
- 受光ユニットを取り付ける前に壁の強度を確認してください。強度不足、取り付けの不備による落下などの事故や破損に対する責任は、当社は一切負いません。特に石膏ボードのような壁に取り付ける際には、十分な対処をしてから取り付けしてください。
- 受光ユニットのケーブルを壁などに固定する前に壁の中に電気の配線などがないか確認してください。また、ケーブルを金具や強い力で固定すると傷つけて断線の原因となることがあります。

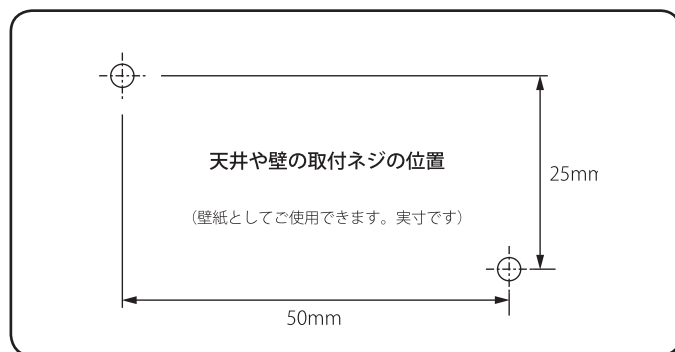
受光ユニットの設置のしかた

取り付け上の注意

- ※ プラスドライバーと取付ネジ(付属)を用意してください。
- ※ 付属の取付ネジ以外を使用すると、受光ユニットを破損したり、落下の原因となることがあります。
- ※ 受光ユニットは、マイクから直接見えるような場所で、レシーバーからケーブルが届く範囲(5m以内)に設置してください。見通しの良い場所にレシーバーを設置できる場合には、受光ユニットはレシーバーの前面に取り付けたままで使用できます。
- 遮蔽物や壁の張り出しがなく、全体が見渡せる壁の天井からやや下がった位置に取り付けるのが最も効果的です。
- ※ ご使用になる部屋の状況に合わせて、受光ユニットを増設することが可能です。受光ユニットは最大4個まで取り付けることが可能です。
- ※ 別売りの増設用受光ユニットを使用すると、ケーブル長を15mまで延長できます。ケーブルの長さが15mを超えるとノイズが増える原因となることがあります。

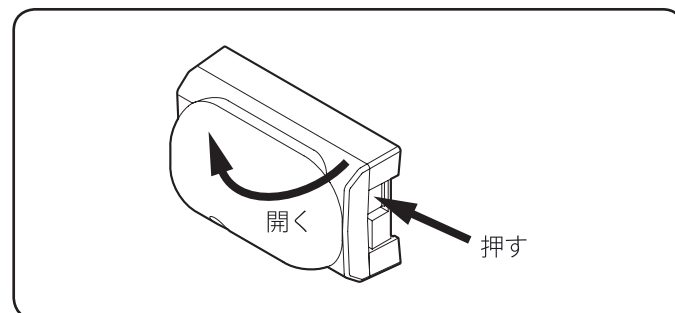
設置方法

1. 壁などの受光ユニットを取り付けたい位置に、受光ユニットの穴位置の印を付けます。

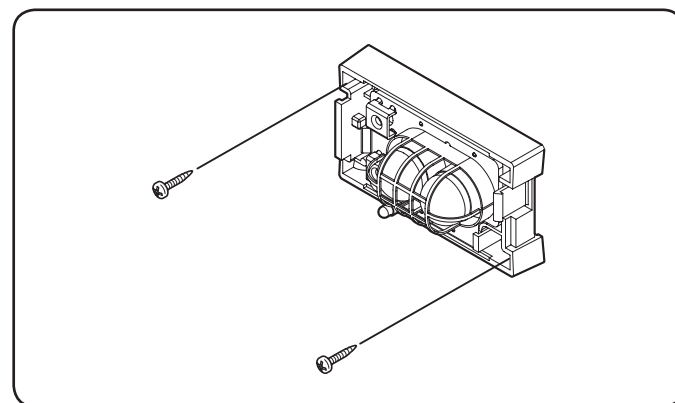


2. 受光ユニットのケーブルをレシーバーの受光入力端子からはずします。
3. 受光ユニットを前に引き出すようにして、本機の前面から受光ユニットをはずします。

4. 受光ユニットの向かって右側を押し、右側から受光ユニットのカバーを開けます。



5. 付属の取付ネジを使って、受光ユニットを壁などに取り付けます。



6. 受光ユニットの向かって左側のツメ部分を合わせて、受光ユニットのカバーを閉めます。
7. 受光ユニットのケーブルをレシーバーの受光入力端子に接続します。

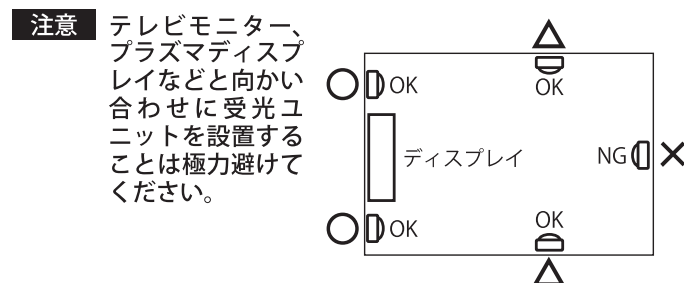
受光ユニットのケーブルを短くする

※ プラスドライバーを用意してください。

1. 受光ユニットのケーブルをレシーバーの受光入力端子からはずします。
2. 受光ユニットを前に引き出すようにして、本機の前面から受光ユニットをはずします。
3. 受光ユニットの向かって右側を押し、右側から受光ユニットのカバーを開けます。
4. ケーブルを固定しているネジを受光ユニットからはずします。
5. ケーブルを受光ユニットからはずします。
6. 適当な長さにケーブルを切ります。
7. ケーブルの被ふくを適当な長さに剥きます。
8. 極性をよく確認して、ケーブルの先端を丸めてネジと端子との間に差し込み、ネジを締めてケーブルを取り付けてください。

※ ケーブル同士はショートさせないように注意してください。ショートすると故障や感電、発火の原因となることがあります。

※ シールド(太いケーブル)が「GND」側、芯線(ケーブルが細く無色の被ふく)が「SIGNAL」側です。



仕様

【一般特性】

受信方式.....スーパーヘテロダイン
搬送周波数.....KWR-200A : 2.06MHz、2.56MHz
KWR-200B : 3.20MHz、3.70MHz

変調方式.....周波数変調
受信チャンネル.....2チャンネル
出力レベル

出力切換設定：マイク
MIX.....110 mVrms (47k Ω 終端 24kHz 変調)
MIC 1、MIC2.....110 mVrms (47k Ω 終端 24kHz 変調)
出力切換設定：ライン
MIX.....400 mVrms (47k Ω 終端 24kHz 変調)
MIC 1、MIC2.....400 mVrms (47k Ω 終端 24kHz 変調)

周波数特性.....50Hz ~ 12kHz ± 3dB

伝搬距離

マイクの出力切換
Hi.....10m (直線距離)
Low.....7m (直線距離)

電源電圧.....10.5V DC
消費電流.....210mA
動作温度.....-5°C ~ +50°C

質量

KWR-200.....307g
KIR-200.....114g (5m ケーブル含む)

外形寸法(幅 × 高さ × 奥行).....130mm × 38mm × 135mm (突起物含む)

【ACアダプター】

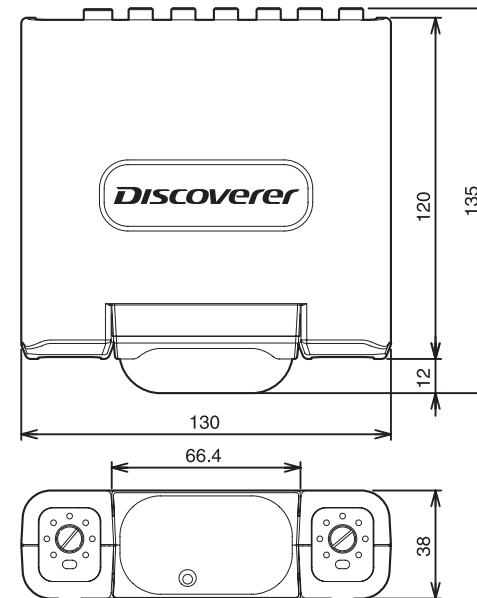
入力電圧.....AC 100V 50Hz/60Hz

消費電力.....15 VA
出力電圧.....10.5 V
出力電流.....700 mA

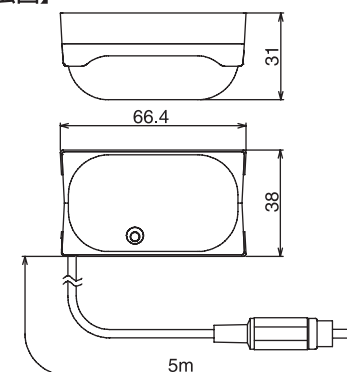
動作温度.....-5°C ~ +50°C
質量.....423g

外形寸法(幅 × 高さ × 奥行).....52mm × 48mm × 78mm (突起物含まず)

【KWR-200 寸法図】



【KIR-200 寸法図】



【付属品】

AC アダプター.....1
アンプ接続ケーブル(1.5m).....1
受光ユニット取付ネジ.....2
取扱説明書.....1
保証書.....1

※ 本仕様は、仕様変更により予告なく変更することがあります。

故障とお考えになる前に

故障かな?と思ったときに、修理をご依頼される前に下記の項目を確認してください。下記の項目を確認されても直らない場合は、お買い上げの取扱店にご連絡ください。

どんな症状ですか	ここをチェックしてください	このように対処してください
音が出ない	マイクの電池残量は、十分でしょうか? マイクとレシーバーの組み合わせは合っていますか?	マイクの専用充電機をご使用の場合は充電してください。乾電池をご使用の場合は、交換してください。 互換表で確認してください。
音量が小さい	本機とアンプまたはカラオケコマンドの音量調整が小さすぎませんか? また、アンプまたはカラオケコマンドに接続されている機器は、正しく接続されていますか?	接続されている機器の取扱説明書をよくご覧になって、接続を確認してください。
受信感度が悪い	アンプまたはカラオケコマンドの音量調整が小さすぎませんか? 本機の音量調整が小さすぎませんか?	アンプまたはカラオケコマンドの音量調整ツマミを調整し適正な音量にしてください。 マイク音量調整ツマミを調整し適正な音量にしてください。
	受光ユニットまたは受光ユニットの付いたレシーバーの設置場所は正しいですか? ミュート切換スイッチが“入”になっていませんか?	受光ユニットまたは受光ユニットの付いたレシーバーをマイクから見て見通しの良い場所に設置してください。 ミュート切換スイッチを“標準”に切り換えてください。

注意 マイクからの赤外線を受信しているときに、本機の電源スイッチを ON/OFF すると、ノイズが発生することがあります。

別売り機器の紹介

1. マイク (KWM-200 シリーズ) (KWM-201 シリーズ) (KWM-210 シリーズ)

2. チャージャー (KCH-210)

3. 増設用受光ユニット (KIR-200)

株式会社 CSR

神奈川県相模原市南区相模大野 5 丁目 33 番 4 号

当社の最新情報をインターネット上で確認してください。

<http://www.kcsr.co.jp/>